

	<h2>東京2025 デフリンピックのメダリストが 練馬区民栄誉賞を受賞しました</h2>
とき	12月22日（月）午前10時30分～11時
ところ	練馬区役所（豊玉北6-12-1）
	<p>22日、東京2025デフリンピックにおいて、メダルを獲得した山田真樹選手（陸上）、森こころ選手（空手）、山田瑞恵選手（卓球）、原口凌輔選手（サッカー）の4名が、「練馬区民栄誉賞」を受賞した。</p> <p>練馬区民栄誉賞は、スポーツ、芸術および学術等の分野において、特に顕著な業績を挙げ、広く区民に敬愛され、社会に希望と活力を与える、練馬区の名を高めた者に贈られる賞である。</p> <p>同日、練馬区役所で顕彰式が行われ、前川 照男 練馬区長から4名に表彰状と副賞を贈呈した。</p> <p>山田真樹選手は「デフリンピックの出場は今回で3回目になるが、色々な意味で、今まで一番重いメダルを獲得したと思っている。これからも練馬区民として誇りを持って行動していきたいと思う。」と話した。</p> <p>森選手は「このような素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。学生として、これからも文武両道で頑張っていきたい」と話した。</p> <p>山田瑞恵選手は、「練馬区からたくさんの応援、サポートをいただいてメダルを獲得できたことを幸せに思う。今後も『デフスポーツ』を広めていけたらと思っている。引き続き、応援をお願いいたします。」と話した。</p> <p>原口凌輔選手は、「生まれ育った練馬区からこのような賞をいただけて嬉しく思う。デフリンピックの意義はスポーツだけでなく、共生社会をめざすことだと思っている。これからも応援をお願いいたします。」と話した。</p> <p>前川区長は「皆さんに、世界最高のひのき舞台で活躍をされ、最高の栄誉を手にされたことに、心からお祝い申し上げます。これからも区の障害者スポーツの振興に努めていきたい。」と話した。</p>

### 【受賞者プロフィール】

#### ① 山田 真樹（やまだ まき）選手



陸上【東京2025 デフリンピック 陸上男子 400m・4×400mリレー「金」、200m「銀」】

高校から陸上を始め、都立中央ろう学校高等部を経て東京経済大学へ進学し、陸上部に所属して競技に打ち込む。2017年サムスンデフリンピックに初出場し、200mで金、400mで銀、4×100mリレーで金メダルを獲得した。大学卒業後も競技を続け、現在はぴあ株式会社に所属している。

#### ② 森 こころ（もり こころ）選手

空手【東京2025 デフリンピック 空手女子 形 団体戦「金」】

2007年北海道生まれ。5歳のときに、空手を始める。デフリンピックへの出場は、今回の東京2025 デフリンピックが初めて。2024年に出場したWorld Deaf Karate Championships 2024 女子団体形で金メダルを獲得。現在は、筑波大学付属聴覚特別支援学校に在学している。



▲左から、山田真樹選手、森選手、山田瑞恵選手、原口選手

### ③ 山田 瑞恵（やまだ みづえ）選手



卓球【東京 2025 デフリンピック 卓球女子 団体戦「銀」、ダブルス「銅」】

母と姉の影響で中学の部活動から卓球を始め、高校 3 年でサムスンデフリンピックに初出場。今回の東京 2025 デフリンピックが 4 度目の出場となる。現在は SMBC 日興証券株式会社に所属し、デフ卓球日本代表として競技に取り組んでいる。

### ④ 原口 凌輔（はらぐち りょうすけ）選手



サッカー【東京 2025 デフリンピック サッカー 男子「銀」】

1994 年生まれ。幼少期より練馬区で育ち、豊玉南小学校・開進第二中学校出身。大学 1 年でデフサッカーに出会い、デフサッカー日本代表として活動を開始。2023 年世界選手権準優勝、2024 年アジア太平洋ろう者競技大会優勝を経て、東京 2025 デフリンピックでは史上初の銀メダル獲得に貢献。現在は株式会社ゼンリンデータコムのアスリート雇用として、競技と仕事の両立に取り組んでいる。

## 【練馬区民栄誉賞】

スポーツ、芸術および学術等の分野において、特に顕著な業績を挙げ、広く区民に敬愛され、社会に希望と活力を与え、練馬区の名を高めた者を顕彰することとしている。

### 【問合せ】

#### [区民栄誉賞に関すること]

練馬区総務課総務係 電話 03-5984-2600

#### [スポーツ施策に関すること]

練馬区スポーツ振興課事業係 電話 03-5984-1947

#### [障害者施策に関すること]

練馬区障害者施策推進課事業計画係 電話 03-5984-4602